

おすすめの本

高校生編 絆～家族、友達、そして恋



2013年10月発行

発行者：枚方市立図書館児童サービス委員会

枚方市立中央図書館 児童サービスグループ内

電話 050-7105-8121 FAX 072-851-0962



かむさり 神去なあなあ日常

三浦しをん/著 徳間書店 Fミウ

横浜の高校生、平野ゆうきは、担任と母親に勝手に進路を決められ、卒業と同時に三重県神去村で林業に就職した。そこには謎だらけの神去山と、何事にもものんびりと「なあなあ精神」で過ごす村人達の日常があった。ゆうきは不思議な一年を過ごすことになるのだった。



くちびるに歌を

中田永一/著 小学館 Fナカ

五島列島の中学生達が、全国合唱コンクール出場を目指す。男子部員と女子部員が対立するなか、顧問の先生が課題曲「手紙～拝啓 十五の君へ～」にちなみ、15年後の自分へ手紙を書く宿題を出す。

提出不要の宿題に部員たちはそれぞれ誰にも話せない秘められた気持ちを綴る。



終点のあの子

柚木麻子／著 文藝春秋 **Fユス**

私立女子高校で織りなす友情をテーマにした連作短編集。希代子は外国帰りの朱里に魅せられて友達になるが、空気を読まない性格にウンザリしてクラス全員でシカトする。後悔するが友情は戻らない。互いに傷つきながらも懸命に前を向いて歩く姿を描く。



晴天の迷いクジラ

窪美澄／著 新潮社 **Fクホ**

過労で心を蝕まれた24歳の男、倒産した48歳の女、拒食症の16歳の女子高校生が死に場所を探すうちに偶然であり、親子を装う。3人は南の半島の狭い湾内に迷い込んだ瀕死のクジラの姿に、自らの境遇を重ね合わせるのだった。



シフト

ジェニファー・ブラッドベリ／著
小梨直／訳 福音館書店 **Nフラ**

クリスとウィンが大学入学前の夏休みに自転車でアメリカ大陸を横断した。ところがウィンが家に戻っていないという。クリスはFBIの捜査官にもウインの父親にも疑われる。一枚の絵葉書を手がかりにクリスはウィンを探しに行く。それは二人の葛藤をたどる旅だった。



夏のバスプール

畑野智美／著 集英社 **Fハタ**

中高一貫校に通う涼太は、2週連続、女子にトマトを投げつけられる。気になって情報を集めるうちに、トマト女には複雑な事情があることがわかる。元カノや幼なじみにふりまわされながらも、涼太はだんだんトマト女にひかれていく。



青春ぽんだバンド

瀧上耕／著 小学館 **Fタキ**

滋賀県有数の進学高校で落ちこぼれている秋祐が三流高校のヤンキーに誘われバンドを組むことになった。進路のことは棚上げてワケありな仲間たちと過ごす高校最後の夏。文化祭に向けて練習を重ねるうちに、いじけていた秋祐が輝いていく。



レガッタ

濱野京子／著 講談社 **Fハマ**

優秀な姉に反発して女子高の強豪ボート部に入部した有里は、負けず嫌いの性格から部内でも孤立してしまう。しかし、共に厳しい練習を重ねていくうちに他の部員も大切な存在とを感じるようになり、仲間と結束してインターハイ優勝をめざす。

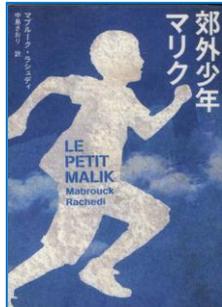


郊外少年マリク

マブルーク・ラシュディ／著

中島さおり／訳 集英社 **Nラシ**

サッカー少年のマリクは、パリ郊外の老朽化した団地に住んでいる。そこは移民の労働者や失業者など格差社会の底辺にいる人たちがばかりだ。盗みやドラッグなどがあふれる環境の中でもマリクは希望を失わず、困難を笑い飛ばしてしたたかに生きる。



希望（ホープ）のいる町

ジョーン・パウアー／著

中田香／訳 作品社 **Nハウ**

ホープは名コックの叔母と暮らし、ウエイトレスをしながら高校に通っている。ある日食堂の店主が白血病を押して町長選挙に立候補した。ホープは不正に立ち向かう心に打たれ、選挙運動を始める。

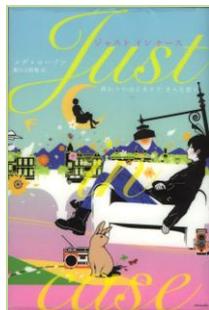


ジャスト イン ケース

メグ・ローソフ／著

堀川志野舞／訳 理論社 **NOソ**

偶然あう不幸な事故や天災に人の運命は支配されている。16歳のデイビッドは予期せぬ破滅の運命から逃れるためにジャスティンと名前を変えた。服装も変えて自分で運命をつくろうとするが、やはり想定外の破滅が待っていた。



頼むから、ほっといてくれ

桂望実／著 幻冬舎 **Fカツ**

トランポリンでオリンピックを目指す5人。でも、オリンピック出場枠は2人だけという厳しい現実があった。彼らに安易な仲間意識はなく、重苦しい空気が流れている。期待や不安、栄光と敗残が交錯する中で今を懸命に生きる姿を描く。



トマト・ケチャップ・ス

東直子／著 講談社 **Fヒカ**

どじでおっとりした女子高生、連翹ゆなは、美人で成績優秀な漆原依理と山口葉から、突然、漫オトリオのメンバーに指名される。戸惑いながらも漫才に参加するゆな。三人の女子高校生が背負う家庭の事情とユルい漫才が織りなす青春グラフィティー。



鷹のように帆をあげて

まはら三桃／著 講談社 **Fマハ**

親友の遥^{はるか}を交通事故で失った理央^{りお}は、以前遥と一緒に行ったペットショップで売られていた鷹が、まだ売れ残っているのを見つけた。その鷹を空高く飛ばせば、遥にも見えるかもしれないと思った理央は、鷹にモコと名付けて飼い、空を飛ばす訓練を始める。



ばら色タイムカプセル

大沼紀子／著 ポプラ社 **Fオオ**

13歳の^{かなで}奏は父親と継母から逃げて海に飛び込む。偶然、ばらが咲き乱れる老人ホームに住む老女たちに助けられ、住み込みで働くことになった。こき使われた上、個性的な老女たちに振り回される日々の中で、奏はホームに関する町のうわさを耳にする。



よるの美容院

市川朔久子／著 講談社 **Fイチ**

小学6年生のまゆ子は同級生の交通事故遭遇のきっかけをつくったという自責の念から言葉を失い、父母とも離れて遠縁の美容院で店の手伝いをしている。まゆ子が周りの人々と心を通わせながら徐々に再生していく姿を描く。



とむらう女

ロレッタ・エルスワース／著
代田亜香子／訳 作品社 **Nエル**

母親を亡くしたイーヴィたちの世話をするため、父親の姉である、おとむらい師の伯母さんがやってきた。悲しみから立ち直れないイーヴィは伯母さんにつらく当たった。死者をとむらうことを通じて成長する少女の1年の物語。



インバウンド

阿川大樹／著 小学館 **Fアカ**

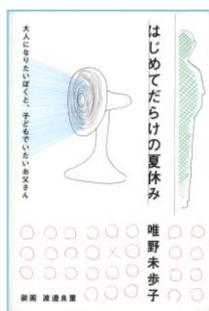
東京の商社をリストラされた25歳の理美^{さとみ}は沖縄に帰り、コールセンターのインバウンド（電話受付）になった。客に振り回されトラブル続きの毎日だが、会社から全国電話対応コンクールに出場するよう命令された。同僚に妬まれ、反りの合わない上司のもと、猛特訓が始まる。



はじめてだらけの夏休み

唯野未歩子／著 祥伝社 **Fタタ**

夏休み初日に病のため突然家を出た母。一人きりの生活を覚悟した9歳の僕のところへ5ヶ月ぶりに父が帰宅する。二人だけの初めてだらけの夏休み。父の素顔にふれ、父の仕事を知り、父母の関係も見えてきた。僕はもう一度3人で暮らすために母を訪ねる。



ハンナの記憶

長江優子／著 講談社 **Fナカ**

認知症になった祖母にハンナというイギリス人から手紙が届いた。そこには「許してあげてもいい」というメッセージがあった。波菜子^{はなこ}が事情を探るうちに東日本大震災が起こり、崩れた荷物のなかから偶然祖母が少女時代に書いた交換日記を見つける。

